

トヨタとスズキ、インドでハイブリッド車などの相互供給に向けて基本合意

トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）とスズキ株式会社（以下、スズキ）は、2017年2月6日の業務提携に向けた覚書締結以降、「環境技術」「安全技術」「情報技術」「商品・ユニット補完」等に関して、具体的な協業の実現に向けた検討を進めてきた。

その一環として2017年11月に、インド市場に2020年頃に電気自動車を投入するための協力関係構築に向けて検討を進めることで合意した。さらに今回は、両社の商品ラインアップを強化しつつ、インド市場における販売競争の活性化に向けて、ハイブリッド車などの相互供給を行うことに基本合意した。

今回、基本合意した商品においては、両社ともさらにできる限り部品の現地調達を進め、インド政府の推進する「Make in India」を実現していくとともに、燃費の優れた商品の普及により、インドにおける環境負荷低減やエネルギーセキュリティにも貢献していく。

具体的には、スズキからトヨタへ「バレーノ」「ビターラ・ブレッツァ」を供給し、トヨタからスズキへは「カローラ」を供給することを予定している。具体的な供給開始時期や台数規模、車両スペック、供給価格等の詳細については、今後両社で検討を進めていく。

供給を受ける車種は、トヨタ、スズキ両社の現地子会社が、それぞれの販売網を通じて販売する予定であり、両社がそれぞれ切磋琢磨して市場を活性化することにより、インドのお客様へお届けする商品・サービスをより一層向上させていく。

今後も両社は、両社間で公正かつ自由な競争が行われることを前提とし、「持続可能なモビリティ社会」の実現に向けて、さらなる協業の検討を継続していく。

以 上